

4 元素

について



写真: Shutterstock / JPF

4 元素

太古の姿をそのまま今に伝える風景をめぐる3日間の旅で、自然界の4元素のパワーを感じてみましょう。はてしない水平線の海や川を満たす水、身も心もさわやかにときほぐす風、この星の生成に大きな役割を果たした火、そして、堅固な石や肥沃な土壌で人間を養ってくれる土。

スタート地点はペニシェ(Peniche)の半島です。ここは、かつて島だったものが、時間の経過とともに陸続きになったところです。そばには、切り立つ岩場の上に、絵のように美しい村バレアル(Baleal)があります。ここは、唯一の陸路である砂州が水中に沈む満潮の間は、島となってしまいます。カルヴォエイロ岬(Cabo Carvoeiro)を訪れば、海の力強さと、浸食作用によって削られたさまざまな岩の形を楽しむことができます。はるかかなたには、ベルレングス諸島(Ilhas Berlengas)が浮かんでいます。さらに1日を旅程にくわえて、自然保護区となっているこの小さな諸島にボートで足をのばしてみてもよいでしょう。世界でここだけでしか見られない生態系に出会えます。洞窟やすんだ波の打ち寄せる浜辺をぬってつづく小道をたどれば、美しい風景につぎつぎに目を奪われます。



Salinas da Fonte da Bica, Rio Maior ©Região de Turismo do Oeste

そこから内陸部の、セラス・デ・アイル・イ・カンデエイロス自然公園（Parque Natural das Serras de Aire e Candeeiros）にむかいます。こんな山中で塩田が目の前に現れ、びっくりさせられることでしょう。これは、山の奥深くにある岩塩坑からくみだされたものです。リオ・マイオール(Rio Maior)からわずか3キロのところにあるフォンテ・ダ・ピカ塩田(Salinas da Fonte da Bica)では、幾何学的にきちんと区切られた塩田の白いマントが、地表を一面におおっています。アルカネデ(Alcanede)近郊では、アルガール・ド・ペナ洞窟(Gruta do Algar do Pena)を訪ねましょう。ここには、ポルトガル最大の地下空間が広がっています。解説センターで時間をとれば、どのように水が鍾乳石や石筍の複雑な形をつくりだすのか、よく理解できます。

次の日は、アルコベルタス(Alcobertas)にむかい、ドルメンを利用して建てられた礼拝堂を訪れます。これは、同種の巨石建造物のなかではヨーロッパでも特に重要な例のひとつです。ヴェスティアリア(Vestiaría)に立ち寄り、ノッサ・セニョーラ・ダ・アジュダ教会(Igreja de Nossa Senhora da Ajuda)の、有名なマヌエル様式の門を見ていきましょう。ヴァラード・ドス・フラデス(Valado dos Frades)では、起源を鉄器時代にさかのぼる、パレイタスのローマ時代のヴィラ(住居)(Villa Romana de Parreitas)を見学します。さらに時代をさかのぼるアルケイダオン・ダ・セーラ・ジュラ紀展望台(miradouro Jurássico de Alqueidão da Serra)は、付近一帯を見渡す格好のポイントです。目をこらしてごらんください。ポルト・ド・モス城(castelo de Porto de Mós)やバターリャ修道院(Mosteiro da Batalha)のシルエットが見分けられますよ！



Costas de Mira d'Aire © Luis Afonso

ミラ・デ・アイレ(Mira de Aire)、サント・アントニオ(Santo António)、アルヴァドス(Alvados)は、セラス・デ・アイレ・イ・カンデエイロス自然公園内にある洞窟の名前で、これらは中に入って見ることができます。3つ全部を訪れることも、ひとつだけ選んで訪れることもできますが、いずれにしても、大石灰質層の大地の内部に秘められた美を十分に堪能してください。地上にもどれば、さらに別の驚異があなたを待ちかまえています。ファティマ(Fátima)近郊のペドレイラ・ド・ガリーニャ(Pedreira do Galinha)では、約1億7500万年前にこの地に生息していた恐竜の足跡を探してみましょう。これは、竜脚類の歩行跡としては、現在知られているなかでは世界でもっとも距離の長いものです。

最終日は、緑豊かな、さわやかな環境はいかがでしょう。パウル・ド・ボキロボ自然保護区(Reserva Natural do Paul do Boquilobo)には、沼沢地や細い流れ、川岸沿いの土地が広がっています。観察路をたどりながら、イベリア半島シラサギの最大のコロニーをはじめとする、ここに生息する約200種におよぶ鳥類を観察してみましょう。そのまま道を進めば、ヨーロッパ最大の人造湖のひとつ、カステロ・デ・ボーデ貯水池(Barragem do Castelo de Bode)があります。クルーズで湖をめぐり、松林のさわやかな空気を胸一杯に吸い込みながら、湖の景観美をすみずみまで堪能してください。エキサイティングなレジャーがお好みなら、ウォータースポーツを楽しみ、自然とのふれあいですっきり気分をリフレッシュして、このコースをしめくくってください。